

報告提出日 2019年4月11日

第二回中間報告

報告期間 2018年12月25日～4月5日

基本情報

2018-19年度地区補助金奨学生 吉本文香

派遣ホストクラブ/カウンセラー: 広島南ロータリークラブ/ 山内恭輔 氏

受入ホストクラブ/カウンセラー: Rotary Club of Abbeydale/ David
Quarterman 氏

教育機関: The University of Sheffield

専攻: Landscape Architecture

クリスマス休暇

シェフィールドの冬は、雪もなく、広島より少し気温が低いくらいでした。クリスマス休暇は、1月23日が締め切りの大きな課題があったので、日本に帰国はせずシェフィールドで過ごしました。

クリスマス当日は、カウンセラーのデイビッドさんがお家に招いてくださり、クリスマスディナーをいただきました。「ディナー」という名前ですがこれは昼食会のことです。デイビッドさんの息子さんご家族のお宅に、親族みんな集合して、とても賑やかな会でした。



クリスマスディナーの様子

課題の締め切りを終えてから、中国人の友人と二人で湖水地方に行きました。湖水地方は、その名の通り湖がたくさんある国立公園で、私が小さい頃か

ら大好きな絵本、「ピーターラビット」の生まれ故郷としても有名な場所です。今回は、湖水地方の中でも一番大きいウィンダミア湖の近くで2泊しました。

湖を囲む山々には、イギリスの文化である「パブリックフットパス」がたくさんあったので、トレッキングをしました。パブリックフットパスとは、国立公園などに設定されたトレッキングコースのことで、様々な長さ、コースがあり、誰でも無料で歩くことができます。雪が積もっていることを想定していなかったため、装備が不十分なまま行ってしまったのは少し反省していますが、雪山と湖の素晴らしい景色を見ることができました。他にも、湖のクルージングや、ピーターラビットミュージアムにも行くことができ、充実した3日間でした。



トレッキングコースからの景色



ウィンダミア湖

学業面の成果

Landscape Architecture コースは、公園や広場などの屋外空間のデザインを学ぶためのコースです。各單元において、対象地が設定されていて、対象地のデザイン案が主な成果として成績に反映されます（この課題を Studio Project と言います）。

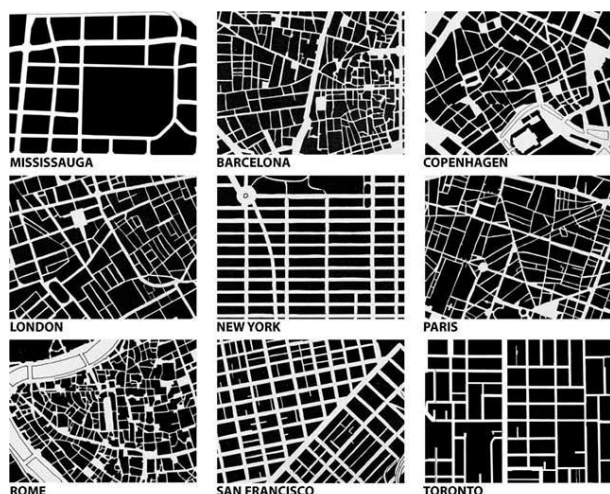
クリスマス休暇後、現在は春学期で、初めの6週間で1つ単元を終え、現在は春学期2つ目の単元の最中です。簡単にご紹介します。

Landscape Planning

この単元は、Design ではなく、Planning なので、都市計画についてです。過去2つの単元は、一つの公園など、対象地が比較的小さかったのですが、今回はシェフィールドを流れる川沿いの、工業地域全体が対象地で、今後の“戦略的な”土地利用を考案し、新しい住宅地と緑地の場所をとというのが課題でした。大きなスケールになると、対象地に関わる要素も多くなるので、計画を立

てる以前の、現況調査がとても重要になります。地形や歴史、現存する緑地、どこにどんな産業があつてどんな人々が住んでいるか、交通網はどうなっているか、など。この調査にとっても時間がかかり、またどの情報が、なぜ重要で、何を自分の計画案の軸とするか最後の最後まで悩みすぎてしまい、これまでで一番苦戦した単元でした。最終的には自転車での交通網を促進することを軸に計画案をプレゼンテーションしましたが、「時間があればもっと考えたかった」という気持ちです。

この単元で新しく学んで興味深かったのは、Urban Fabric という言葉です。Fabric とは生地や織物のことで、Urban Fabric とは簡単にいうと、都市の地図から読める模様やパターンのことです。例えばニューヨークはグリッド状の道路、パリは放射状に走る道路が特徴的です。一つの都市の中でも、地域によって異なる「模様」があつて、これらは歴史的な地図から変わらぬものもあれば、ある時戦略的に大きく変えられたものもあります。ヨーロッパ各地の例を学んだので、機会があればぜひ実際に訪ねてみたいのです。



urban fabric and form comparison

出典 RETHINK URBAN <<http://rethinkurban.com/2012/places-and-spaces/understanding-urban-forms/>>

この単元では、総合で 69 ポイントという評価をいただきました。かなり苦戦して、今でもいろんな知識を消化し切れていないと感じるので、講義の中で興味を持った事例など掘り下げて調べたりしようと思います。

課外活動：フラワーショウで花壇コンテスト出展

大学とは関係ないのですが、フラワーショウに私のデザインした花壇を出展することになりました。フラワーショウとは、ガーデニング大国イギリスで、春からほぼ毎月、いろいろな場所で開催されるガーデニングの祭典です。花壇

のデザインコンテストは、デザイン案と使用する植物リストを応募して一次審査を受け、通過したら実際にフラワーショーで花壇を作ります！これから植物の買い付けや世話をし、6月上旬にコンテスト本番です。イギリスならではの貴重な経験なので頑張ってみようと思います。

受け入れ地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーの方々との交流

1月18日に、シェフィールドにある4つのロータリークラブ合同で行われた Burns Supper に招待していただきました。スコットランド出身の詩人、Robert Burns 氏の生誕260年をお祝いする会でした。スコットランド伝統のバグパイプの演奏や、伝統料理であるハギスを初めていただきました。



Burns Supper にて。

左から Rotary Club of Abbeydale のマイクさん、私、アレックスさん

スコットランド伝統衣装のタータンチェックが素敵です。

3月21日には、国際ロータリー1220地区主催の Foundation Appreciation Meeting に参加しました。この会で初めて、1220地区の奨学生、西岡まほさんに会うことができました！一人日本人がいると以前から伺っていたのですが、やっと会えました。まほさんはノッティンガムに住んでいるので、訪ねる機会があれば嬉しいです。

3月22日には、受け入れクラブである Rotary Club of Abbeydale の、男声合唱団と地元の小中高生のチェリティーコンサートに、招待していただきまし

た。ロータリアンの方々は毎週木曜日に集まって練習をされているようで、皆さん楽しそうに歌っているのが印象的でした。高校生のブラスバンドやジャズバンドの演奏もあり、盛りだくさんなコンサートでした。



チャリティーコンサートの様子

直面した課題、今後の課題

毎日授業がある上に、個人で進めなくてはいけない課題量が多く、もっと考えたいけど時間がない、もっといいものができそうなのに時間がない、というジレンマに悩んだ結果、精神的に辛い時期を過ごしました。時間がないことは皆同じであり、仕方がないので、落ち込んでしまわないように、健康的に過ごしたいと思います。